

2026年5月15日

各 位

会 社 名 アトラグループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 久世 博之  
(コード番号：6029 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役 田中 克典  
(TEL. 06-6533-7622)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期第2四半期（累計）連結業績予想ならびに通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2026年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,680	△10	△15	△20	△1.95
今回修正予想(B)	1,400	50	58	△80	△7.79
増減額(B-A)	△280	60	73	△60	
増減率(%)	△16.7	—	—	—	
(ご参考) 2025年12月期 第2四半期（累計）実績	1,883	25	30	115	11.26

2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500	80	70	60	5.84
今回修正予想(B)	2,400	120	130	△25	△2.44
増減額(B-A)	△1,100	40	60	△85	
増減率(%)	△31.4	50.0	85.7	—	
(ご参考) 2025年12月期実績	3,927	140	148	258	25.16

※2025年12月期の比較では営業利益が20百万の減益となっておりますが、玩具販売事業を除いたベースでは増益となる見込みです。

## 2. 修正の理由

当社のコア事業であるA-COMS（エーコムス）事業は、鍼灸接骨院向け基幹システムとしての市場地位を強固にしております。新規開業院への導入に加え、他社システムからの乗換契約の獲得も加速し、サブスクリプション型収益基盤が着実に拡大しております。また、当社独自開発の神経可視化・施術支援AIデバイス「アトラゲージ」をはじめとするオリジナル機材の販売も順調に伸長し、本業の収益力は当初計画を上回るペースで回復しております。その結果、2026年12月期第2四半期（累計）および通期において、営業利益・経常利益は当初計画を上回る水準を達成できる見込みとなっております。一方、親会社株主に帰属する当期純利益（損失）については、後述の連結子会社譲渡に伴う一過性の特別損失の計上により、当初計画を下回る見込みです。

また、2025年12月に開示いたしましたクオンタムリープ株式会社との資本業務提携により、A-COMSプラットフォームの拡張性を活かした医療（再生・歯科等）・リラクゼーション・エステ市場への事業領域拡大が進んでおります。同社との連携による最先端技術の取り込みを通じ、鍼灸接骨院を中心とした「リバーズ・エイジング（若返り）」支援プラットフォームとして収益機会の多様化を加速させ、次の成長エンジンが着実に動き始めていると認識しております。

コア事業への経営資源集中を加速させる戦略的判断として、当社は2026年3月31日付で玩具販売事業を営む連結子会社株式会社ペリカンの全株式を譲渡いたしました。ペリカン社は2021年の買収以来、市場環境の悪化等を背景に継続的な営業損失を計上しており（前連結会計年度：営業損失25百万円）、当社グループ全体の利益体質改善の制約要因となっております。本件は将来の飛躍に向けた「選択と集中」の実行であり、グループの収益性・財務健全性の抜本的改善を実現するものです。本件に伴う連結範囲の変更により、当第2四半期（累計）及び通期の売上高は当初計画を下回る一方、ペリカン社の連結除外による損失消滅効果により、営業利益及び経常利益は当初計画を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益（損失）については、本株式譲渡に伴う関係会社株式売却損130百万円を一過性の特別損失として計上するため、計画を下回る見込みです。なお、当該損失はキャッシュフローに影響しない会計上の評価損であり、前向きな変革コストと位置づけております。

当社グループは、本事業再編によりコア事業に経営資源を集中する体制を整えました。今後は、国内約50,000院の鍼灸接骨院市場において、約3,000院への導入実績を有する当社グループの基幹システムであるA-COMSプラットフォームを活用し、医療連携、自費診療支援、EC機能強化、リラクゼーション・エステ市場への横断的展開を加速してまいります。

損失事業を整理し、本業で利益を積み上げる体制を整えた今、当社グループは真の成長フェーズへ移行する重要局面にあると認識しております。株主・投資家の皆様のご期待に応えられるよう、全社一丸となって企業価値の向上に取り組んでまいります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

以 上